

2012 年度日比 NGO ネットワーク (JPN) 事業報告

1. 会合の開催

(1) JPN 会合

第 41 回 2012 年 4 月 17 日 参加者 12 名

議題

- 1) 新規入会団体と DAWN Japan のイベントについて
 - ・新規入会団体について
 - ・DAWN Japan ミュージカルとシンポジウムについて (5/14)
- 2) 外務省 対フィリピン国別援助方針 パブリックコメントについて
- 3) NGO 外務省定期協議会「連携推進委員会」参加について
- 4) 2011 年度事業報告 (案) について
- 5) 2012 年度事業計画 (案) について
- 6) 台風センドン支援の今後について
- 7) 新年度の世話人について

第 42 回 2012 年 8 月 6 日 参加者 10 名

報告事項

- 1) 新年度の世話人について
- 2) 外務省対フィリピン国別援助方針のパブリック・コメントの結果について
- 3) 新規入会団体について

審議事項

- 1) 2010 年度、2011 年度活動報告と会計報告 (案) について
- 2) JPN 組織の今後の在り方と会則と運営方法について
- 3) JPN 会計処理方法について
- 4) IMF・世界銀行年次総会「市民社会プログラム」への参加について
- 5) 日比 NGO 協働基金の助成事業募集について
- 6) フィリピン バリオフェスタ 2012 (9 月 1 日、2 日) について

第 43 回 2012 年 10 月 11 日 参加者 11 名

第 1 部 : 第 43 回日比 NGO ネットワークのメンバー会合

議題 : 日比 NGO ネットワーク会則の改定について

第 2 部 : Ms. Marlene Ramirez (PJP 委員) と西谷和雄氏 (日比経済委員会事務局) を
囲んでの情報交換会

PJP およびフィリピン NGO の近況報告

報告者 : Ms. Marlene Ramirez (PJP 委員)

日比経済委員会の活動紹介

報告者：西谷和雄（日本商工会議所国際部長、日比経済委員会事務局）

（２）世話人会合

第 1 回 2012 年 6 月 19 日 参加者 5 名（事務局員 1 名含む）

- 1) 日比 NGO ネットワーク（JPN）と ACC21 の関係と会計処理について
- 2) 世話人の補充について
- 3) その他

第 2 回 2012 年 9 月 26 日 参加者 5 名（事務局員 1 名含む）

審議事項

- 1) 今後の JPN 運営について
- 2) JPN の目的の確認
- 3) 事業内容の再整理
- 4) 会員制度について
- 5) 運営委員会の権能と会員の権利について
- 6) 監事の設置
- 7) 事務局の委託
- 8) JPN ロゴの公募、採用者への謝金について

第 3 回 2012 年 11 月 19 日 参加者 6 名（事務局員 1 名含む）

- 1) 新会則での運営委員会代表、副代表の選出と監事の選任について
- 2) JPN 会員規定について
- 3) 草の根・人間の安全保障無償協力（GGP）事業の評価について
- 4) ウェブサイト「ニュース」掲載規定について
- 5) 在日商工会議所への入会について

第 4 回 世話人会合/第 1 回運営委員会 2013 年 3 月 22 日

参加者 5 名（事務局員 1 名含む）

- 1) 新会則・会員規程の採択について
- 2) 運営委員の確認について
- 3) 代表・副代表の選出について
- 4) ACC21 との事務局委嘱契約について
- 5) 在フィリピン日本大使館委託調査「草の根・人間の安全保障無償資金協力」の結果について
- 6) 新年度(2013 年度)の計画について

2. 「日比 NGO 協働基金」構想推進

PJP との協議を重ね、「日比 NGO 協働基金」の助成ガイドラインおよび申請書様式を決定し、2012 年 7 月 31 日、助成対象事業の募集を開始した。締切（2012 年 8 月 30 日）までに 1 案件（PJP 側より）の提出があったが、条件を満していなかった。再度、PJP と連絡、調整を行い、2013 年 2 月 17 日、再募集を開始した（申請締切は 4 月 30 日）。

多様な機関や一般市民社会の連携拡大と強化を図り、資金調達活動の基盤作りを行った。経済界との連携を拡大するべく、在日フィリピン商工会議所に参加した。また、フィリピン大使館の公使兼総領事としてのイグナシオ氏を訪問し、JPN 活動について紹介し、今後の協力を求めた。

3. 対比国別援助計画/方針フォローアップ

2012 年 3 月、「対フィリピン国別援助方針」に対するパブリック・コメントの募集に対し、JPN の会員の意見をまとめ、世話人の名前で 2012 年 4 月 9 日、コメントを外務省に提出した。

2013 年 1 月に在フィリピン日本国大使館より、「草の根・人間の安全保障無償資金協力 (GGP)」のフォローアップ調査の委託を受け、2013 年 1 月 20 日(日)～27 日(日)の日程で、実施した。調査員には、JPN 会員より 3 名と比日 NGO パートナースHIP (PJP) のメンバー 1 名の計 4 名が参加し、フィリピン各地で実施された 8 件の GGP 案件を訪問、調査した。本調査は、草の根無償 (GGP) を受けた案件の現状把握と、GGP の効果的・効率的な実施のあり方等に関して提言することを目的とする。JPN は PJP と共に取り組んできた日本の ODA および GGP の改善に向けた提言活動の一環として積極的に受託した。

4. フィリピン災害支援事業

2012 年 12 月 4 日、台風 24 号（フィリピン名：パブロ、アジア名：ボーファ）がフィリピン南部のミンダナオ島を襲い、各地で鉄砲水や土砂崩れなどが発生し、多大な被害をもたらした。JPN は、PJP の関係団体 MINCODE（ミンダナオ NGO ネットワーク連合）の協力を得て、フィリピン台風 24 号被災者支援のための募金活動を実施し、22 個人 8 団体から寄付を受けた。

募金総額 : 472,892 円

寄付先 : ミンダナオ NGO ネットワーク連合 (MINCODE)

寄付送金日と金額 : 1 回目 2012 年 12 月 27 日 109,000 円

2 回目 2013 年 3 月 1 日 269,654 円 計 378,654 円

(差額は現地との連絡調整、電話代、送金手数料等に充当)

募金協力団体 : 在日フィリピン留学生協会、くじら (関西学院大学のボランティアサークル)、(特活)国際ボランティア学生協会、語学交流協会 ELCA 東京、(特活) WE21 ジャパン寒川、(特活) WE21 にのみや、(特活) ビラールの医療と自立を支える会、(特活) WE21 ジャパン

5. 広報活動

2012年5月、JPN ウェブサイト内に ACC21 の協力を受け「フィリピンに関わる日本の NGO ディレクトリー」をオープンした (<http://jphilnet.org/directory/>)。2013年3月末現在、掲載団体は48団体。

また、JPN ロゴを一般から募集し、集まった38件の候補ロゴについて正会員の意見を聞き、世話人会で採択するロゴを決定した。

「JPN ニュース」ページがフィリピン台風24号被災者支援の募金活動や JPN 会員の団体のイベント情報等の広報に活用されるようになり、アクセス数*が1年間(2012年4月1日～2013年3月31日)で総数6,981件に達した。以下は、月別アクセス数の推移状況である。(*Google Analytics による「訪問者数」(サイトに訪問した数の累計))

(4月)12件、(5月)446件、(6月)341件、(7月)251件、(8月)230件、(9月)217件、(10月)620件、(11月)1,173件、(12月)1,680件、(2013年1月)860件、(2月)593件、(3月)558件

6. その他

① JPN 組織運営の改善

JPN 口座を新規に設置し、事務局を担う(特活)アジア・コミュニティ・センター21 (ACC21) と資金管理方法について協議し、整理した。会則を改訂し、会員規程を新しく作成し、世話人会を運営委員会に改称し、2013年3月に始動した。

② セミナー等の協力、共催

・シンポジウム&ミュージカル『移住労働者の女性と子どもを考える』

主 催：国際公務労連加盟組合日本協議会 (PSI-JC)、DAWN (Development Action for Women Network)、(特活) エファジャパン

協 力：JPN

実施日：2012年5月14日 参加者数：約70人

内 容：ジャパニーズ・フィリピーノ・チルドレン (JFC) によるミュージカルと移住労働に関わる課題に関するシンポジウム。

・『フィリピンの草の根から学ぶ平和と健康』平和を作り出す“つなぐリーダーシップ”の実践～フィリピン南部・バシランからの報告～

主 催：(公財)アジア保健研修所(AHI)、WiNG-こどもと共に学ぶ会(主に千葉大学の医学生による団体)、JPN

実施日：2013年3月11日 参加者数：約20人

内 容：ミンダナオ島バシラン島で平和構築や地域開発を行う NGO『ミンダナオ平和構築協会 (Nagdilaab Foundation, Inc.)』の活動報告と代表、スアシート氏による平和に関するワークショップ

8. 2012 年度 JPN 活動参加団体リスト

2012 年度は新しく 4 団体（うち 1 団体は準会員）が加わり、JPN のメンバー団体、および個人は以下の通り。

（メンバー団体 25 団体）

正会員（24 団体）（下線の団体は 2012 年度に新規加入団体）

（特活）ACTION

（特活）アクセスー共生社会をめざす地球市民の会 (ACCE)

（特活）アジア・コミュニティ・センター21 (ACC21)

（公信）アジア・コミュニティ・トラスト (ACT)

（学）アジア学院 (ARI)

（公財）アジア保健研修所 (AHI)

（特活）イカオ・アコ (IKAW AKO)

（公財）オイスカ (OISCA International)

（特活）観照ボランティア協会

（特活）国境なき子どもたち (KnK)

（特活）金光教平和活動センター (KPAC)

（公財）ジョイセフ (JOICFP)

（特活）ソルト・パヤタス (SALT)

（特活）2050

（特活）日本ヌエバエシハ・ファウンデーション (JANEF)

（公財）プラン・ジャパン (Plan Japan)

（特活）フィリピン日系人リーガルサポートセンター (PNLSC)

（特活）フリー・ザ・チルドレン・ジャパン (FTCJ)

（特活）ビラーンの医療と自立を支える会 (HANDS)

（特活）日比イロイロ農村交流会 ピムサッド (PMSAD)

（特活）ヘルピングハンズアンドハーツジャパン (HHAHJ)

DAWN-Japan

（特活）WE21 ジャパン (WE21)

LOOB Japan (ロオブ・ジャパン) (準会員⇒正会員へ)

準会員（1 団体）

フィリピンつながり交流会 (FILICA)

（個人 4 名）

菅沼櫻子 (OFW 支援 Cooperative)

玉置真紀子

吉田恒昭 元東京大学新領域研究科国際協力学専攻教授

吉川洋子 南山大学総合政策学部教授